

蔵の町並みキャンパス成果発表会

建築設計製図Ⅰ

須坂の蔵の町並み景観に配慮した二世帯木造住宅の設計
長野工業高等専門学校環境都市工学科 4 年

設計課題

(a)設計条件

以下の内容を考慮して設計を行うこと。

- ・蔵の町並み景観を考慮すること。
- ・道路からの景観が蔵の町並みになじむこと
- ・二世帯の家族のあり方を考え、計画をすること。

2階建専用住宅を次の条件で設計する。

敷地 須坂市、別紙に示す。敷地面積約 400m^2 (約 $20\text{m} \times 20\text{m}$)

東京都中央駅

東京都北

東京都南

縮尺 1/1,500



設計課題

家族構成：祖父母（70代）父母（40代）子供3人（小1,小3,中1）
構造：木造2階建（地下室可能）
規模：延べ面積～300m²
容積率：200/100 建ぺい率：6/10
設備：電気・水道・ガスの引込み可能で、公共下水道は完備
必要緒室：祖父母室、夫婦室、子供部屋、風呂、トイレ、洗面所、
台所、居間、それ以外の必要な部屋は各自設定する。
その他：普通乗用車2台の置き場を確保すること。

各部屋の収納は十分配慮すること
家族の趣味などは、各自設定すること。

蔵の町を眺められるが、見られない家

塚原 治美

蔵の町を眺められるが、見られない家

家族構成：祖父母、父母、長女(中 1)、次女(小 3)、長男(小 1)

趣味：祖父母…読書 父…自転車 母…料理

長女…ピアノ 次女…ピアノ 長男…サッカー

祖父母の部屋は一階、子世代の個人部屋は二階に配置し、プライベートな空間は分かれている。祖父母室から濡縁に直接出られることにより、祖父母室が閉鎖的な空間にならないようにした。濡縁の前には生垣を設置してあるため、外からは見られない。

庭は北東に位置させ、道に面していないことで、遊び回っても周りからは見えず、安全になるようにした。

二階のカウンター部分は蔵の町並みを眺めながらデスクワークや、勉強ができる空間である。窓は蔵の町並みを意識し、戸袋をつけ、町と調和するようにした。

リビング・ダイニングは吹き抜けになっており、一階で生活する時には開放感があり、二階で作業する際には、一階の様子が見えるため、家族の存在を感じることができる。

蔵の町を眺められるが、見られない家



蔵の町を眺められるが、見られない家



蔵の町を眺められるが、見られない家



蔵の町を眺められるが、見られない家



蔵の町を眺められるが、見られない家



蔵の町を眺められるが、見られない家



居間に集まるいいえ

西林さくら

居間に集まる家

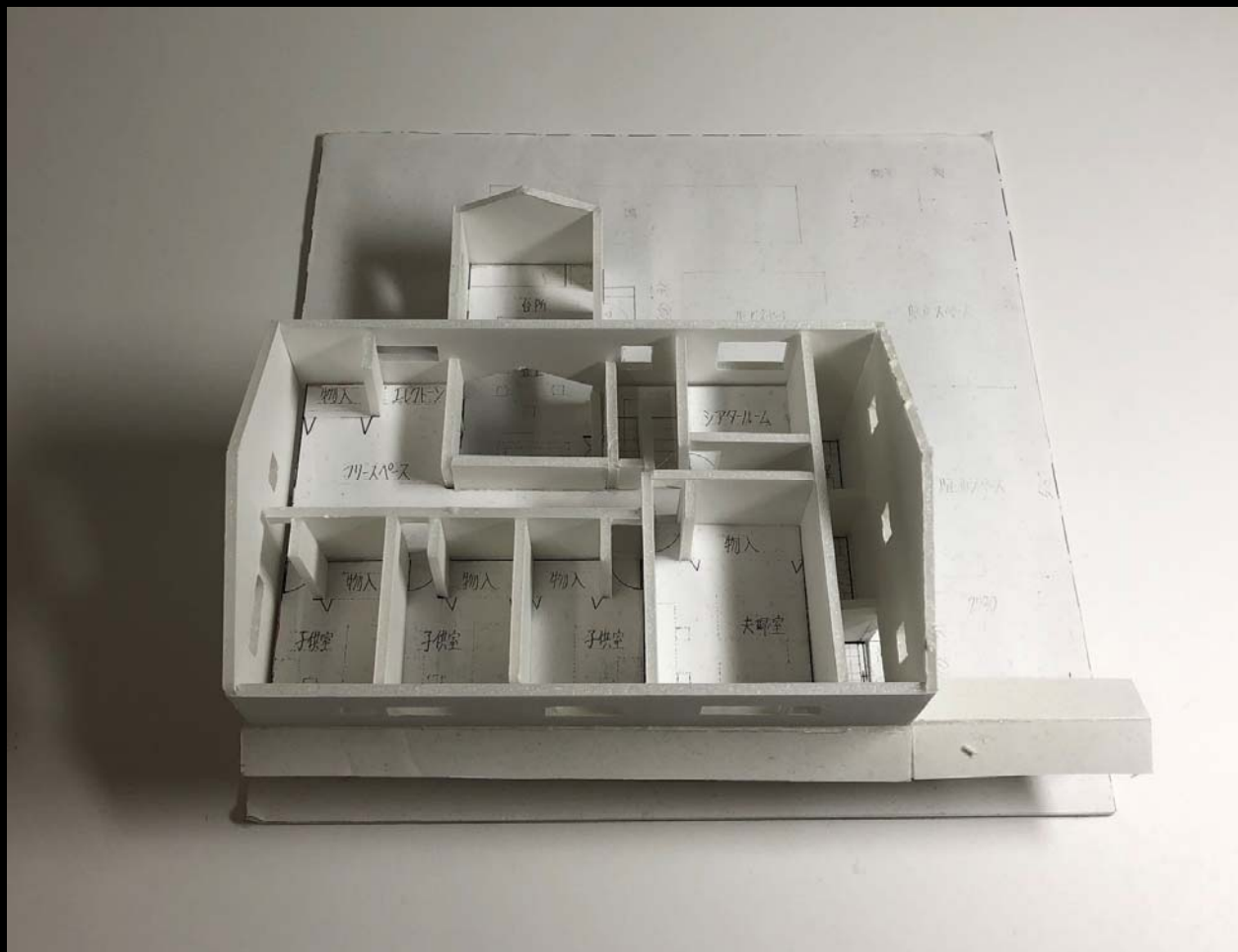
三世帯が家の中央に位置する居間に集まるように設計した。

足腰の悪い祖父母が階段を上り下りしないよう 1 階に居住スペースを設けた。専用のミニキッチンやトイレを設置した。

2 階は親、孫の居住スペースである。それぞれ個室は確保しながらも、フリースペースを設け、そこでも寛げるようにした。また、1 階の居間の真上が吹き抜けになっているため、2 階にいながらも 1 階の居間と一体感がある。

古民家特有の広い土間玄関を設け、道路に面している格子戸をあければ地域住民とも交流できる。

居間に集まる家



居間に集まる家



居間に集まる家



居間に集まる家



居間に集まる家



居間に集まる家



居間に集まる家



居間に集まる家



生活ペースを共にする二世帯住宅

関 晃紀

生活ペースを共にする二世帯住宅

生活ペースを共にする二世帯住宅

家族構成：祖父（75 歳）

祖母（75 歳）

父（45 歳）

母（45 歳）

長女（13 歳 中 1）

長男（9 歳 小 3）

次男（7 歳 小 1）

趣味：祖父…マレットゴルフ

祖母…料理

父…ツーリング・写真撮影

母…ツーリング・キャンプ

長女…読書・本の収集

長男…プラモデル製作

次男…写真撮影

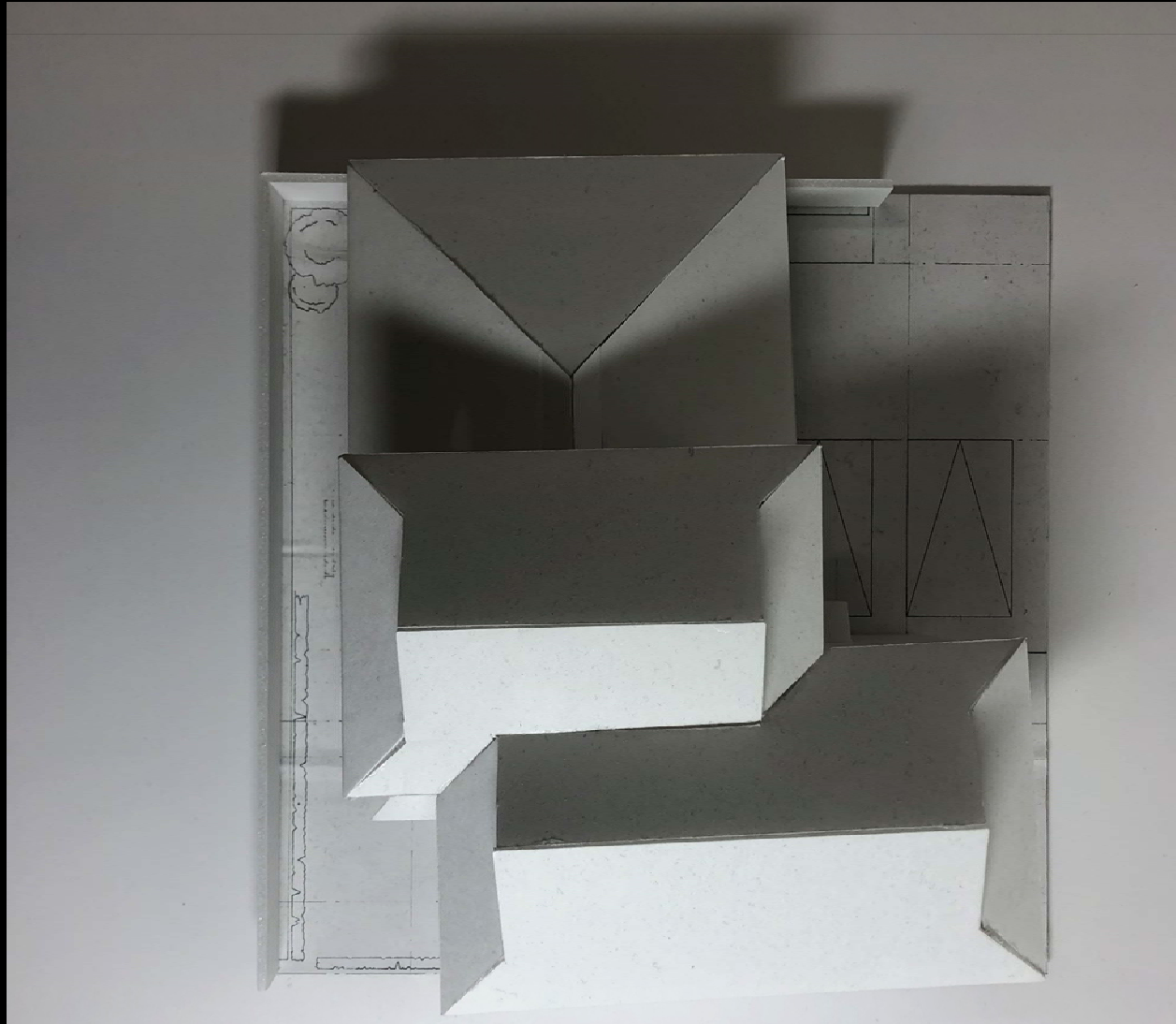
設計趣旨：

両世帯が同じペースで生活できるよう、1階部分の分割を少なくして共有スペースを広めにとり、祖父母室から諸室へのアクセスが容易になるような配置にした。生活する人数が多いこともあり、くつろぎの場となる居間は高さ方向に広いものとしたり、動線の交錯が考えられる位置では吹き抜けを設けたりして圧迫感をできる限り軽減できるようにした。居間下の天井が低い空間には大きな飾り棚を設け、コレクションや本の陳列等ができる、またそれらをそこで楽しめる部屋とした。物置は家の外から土足のまま出入りでき、アウトドアな趣味に必要な用具の出し入れがやりやすい様にした。

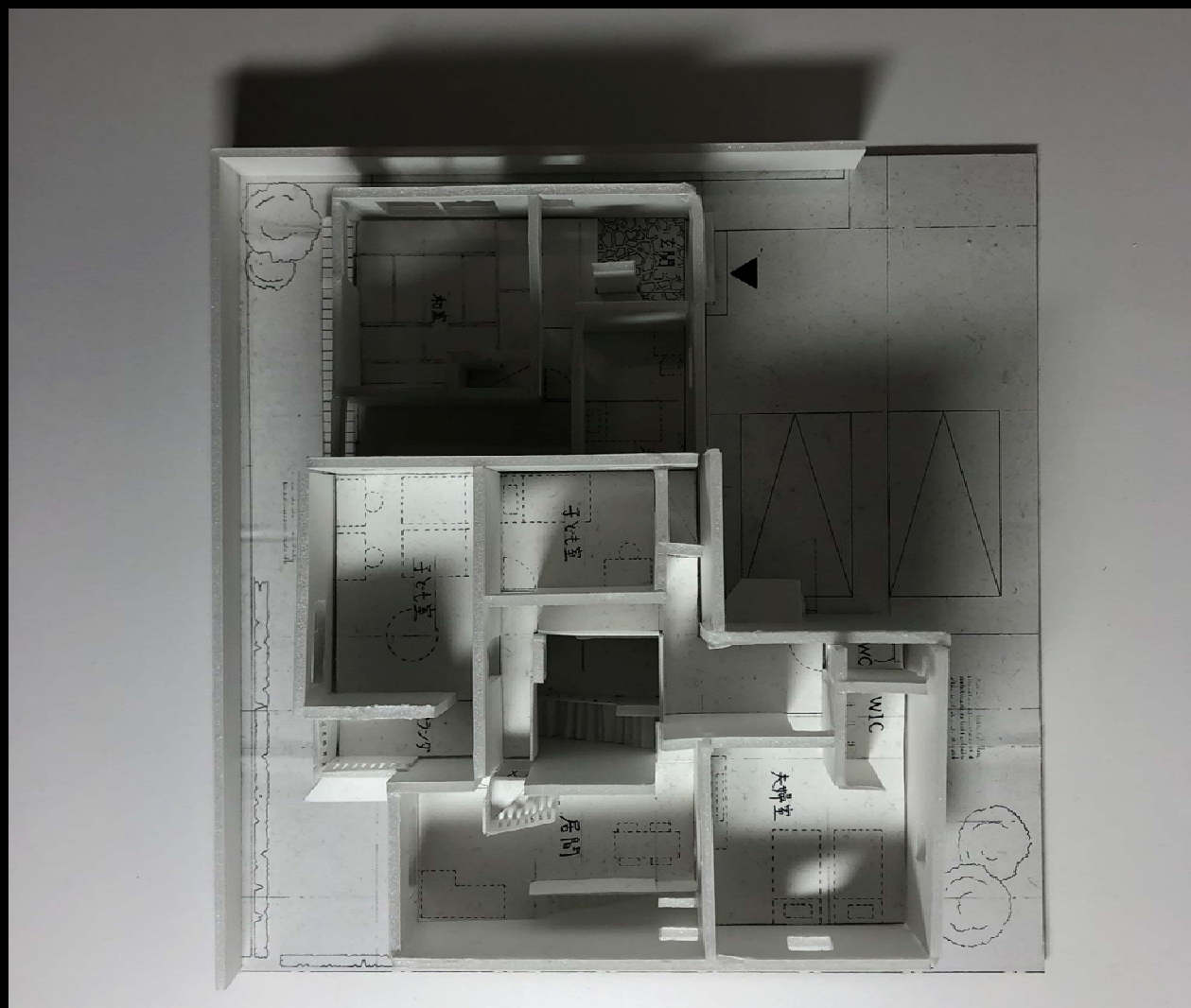
家の外見としては、周辺の須坂の街並みの中でも違和感がないよう配慮した。その一つとして、外壁および植栽を敷地に沿うようにして設けることで、街を散策する人からみても一般住宅であることがわかるようにした。他にも縁側を設ける、屋根を入母屋屋根にするなど、日本家屋風の様式にすることで景観に違和感なく溶け込めるようにした。



生活ペースを共にする二世帯住宅



生活ペースを共にする二世帯住宅



生活ペースを共にする二世帯住宅



生活ペースを共にする二世帯住宅



生活ペースを共にする二世帯住宅



生活ペースを共にする二世帯住宅

